

平成 30 年 7 月 2 日

各 位

会社名 株式会社 サクラ
代表者名 代表取締役社長 笹倉 敏彦
(コード番号 6303、東証第二部)
問合せ先 総務部長 中野 朋宏
(TEL. 06-6473-2131)

第 71 期定時株主総会の主な質疑応答要旨について

平成 30 年 6 月 28 日に第 71 期定時株主総会を開催し、株主様から頂いたご質問・ご提言のうち主なものをお知らせいたします。

記

(質問 1)

受注損失引当金の主な原因であるプラント工事長期中断の内容と今後について

(回答 1)

原油価格の大幅な下落によりサウジアラビア政府の財政状況が悪くなったことが長期中断の大きな原因と理解している。今後は、サウジアラビア政府に中断しないように働きかけを続けていく。

72 期は、為替差損分とその他追加費用を含めて受注損失引当金 3 億 50 百万円見込んでいるが、業績予想として公開している営業利益は、当該費用を織り込んだうえで 2 億 50 百万円としている。

(質問 2)

東証一部への鞍替えについて

(回答 2)

安定的に利益が確保できるようになれば、将来的に東証一部への指定申請も考慮するが、当社として、現在具体的な検討や準備を進めている訳ではない。

(質問 3)

中期経営計画の結果と今後について

(回答 3)

全社をあげて採算性向上を柱とした中期経営計画をスタートさせ、損益分岐点は下がってきており、現状 100 億円程度の売上が計上できれば利益がでる状況になっている。72 期については、大型プラントを除いて考えると中期経営計画の営業利益率 5% を達成しつつある。今後は魅力ある製品をつくり、アフターサービスを充実させ、お客様から指名される企業にして利益を増加させていきたい。

以 上